

武井正広 議員

「子育て～まちの未来～」

～きめ細かい子育て支援と将来人口2万人に向けた基盤整備～

令和8年度予算は、開成町の将来を見据え、きめ細かい子育て支援とインフラ基盤整備を着実に進める重要な内容となっています。

私が特に注目した子育て支援では、妊婦健康診査費助成の増額(11万1千円)、出生祝い金(1人5万円、第3子は10万円)、保育所の定員拡充、子育て応援基金の創設に加え、小学校給食費の無償化が盛り込まれました。

妊娠期から乳幼児期、学齢期まで切れ目なくきめ細かく支援する体制が整備され、経済的負担の軽減と、安心して子育てできる環境づくりが進みます。子育て世代に「選ばれるまち」であり続けるための大きな一歩といえます。

また、人口2万人を見据えたインフラ整備として、現在進行している駅前通り線周辺地区土地区画整理事業、そして開成南小学校南側の南部第3地区土地区画整理事業、宮台北地区の産業集積ビレッジ構想などが進行していきます。

良質な宅地の供給や企業誘致など将来の暮らしを支える投資が進められており、町の持続的な発展に向けた重要な取り組みです。

これらの施策が確かな成果につながるよう、今後もしっかりと注視していきます。